

国宝・大崎八幡宮 仙台・江戸学叢書

■は既刊 □は未刊(令和2年12月末現在) 定価:①~⑤0、各巻600円 ⑥~各巻800円(A5判76頁 税別・送料別)

- ① 濱田直嗣 城下町の268年
② 佐藤昭典 利水・水運の都 仙台
③ 近江惠美子 仙台七夕 伝統と未来
④ 政岡伸洋 仙台の祭りを考えるための視点と方法
⑤ 吉岡一男 仙台城下の民俗信仰
⑥ 菊池慶子 「杜の都・仙台」の原風景
⑦ 竹内英典 松窓乙二門の女流俳人
⑧ 千葉正樹 仙台聖なる水の空間
⑨ 小川百合子 仙台藩と茶道
⑩ 堀野宗俊 大崎八幡宮と瑞巌寺
⑪ 綿抜豊昭 政宗の文芸
⑫ 佐藤憲一 伊達政宗と手紙
⑬ 大藤 修 仙台藩の学問と教育
⑭ 太宰幸子 仙台城下の地名
⑮ 岩本由輝 本石米と仙台藩の経済
⑯ 菊池勇夫 仙台藩と飢謹
⑰ 鶴飼幸子 仙台藩の学者たち
⑯ 水野沙織 仙台城下の芸能事情
⑯ 平川 新 仙台藩のお家騒動
⑯ 渡邊洋一 仙台の出版文化
⑯ 古川愛哲 仙台藩の不通と忠臣蔵
⑯ 渡辺浩一 仙台城下の武家屋敷
⑯ 菅野正道 政宗を支えた重臣
⑯ J.F.モリス 150石の領主
⑯ 芝 祐靖 大崎八幡宮と雅楽
⑯ 角屋由美子 “上杉と伊達”
⑯ 伊勢民夫 仙台城下の商人(あきんど)群像
⑯ 内山淳一 仙台藩の絵師たち
⑯ 竹内 誠 江戸の魅力
⑯ 中川 学 仙台藩の武士と儀礼
⑯ 金森安孝 考古学が解く仙台城
⑯ 島森哲男 伊達政宗の漢詩
⑯ 伊達宗弘 仙台藩に彩りを添えたお姫様
⑯ 跡部進一 世界史の中の常長
⑯ 鮎井千佐登 城下町仙台の職人衆
⑯ 佐藤賢一 仙台藩の和算
⑯ 尾暮まゆみ 仙台と黄檗を繋ぐもの
⑯ 茂木裕樹 仙台藩の刀工
⑯ 塩田達也 信仰と景観
⑯ 庄司舜一 杜の都をつくった仙台の林野
⑯ 高橋あけみ 大名家の婚礼と調度
⑯ 斎藤善之 仙台城下への肴の道
⑯ 朴澤一堂 仙台藩と華道
⑯ 梅津保一 松尾芭蕉と仙台
⑯ 黒須 潔 仙台藩の天文
⑯ 村井早苗 キリシタン禁制史における東国と西国
⑯ 佐藤 琴 描かれた松島
⑯ 嘉藤美代子 仙台藩の貝足
⑯ 濱田淑子 仙台藩の暮らしを彩った工芸
⑯ 早坂信子 公共図書館の祖青柳文庫と青柳文蔵
⑯ 星 亮一 戊辰戦争と仙台藩
⑯ 関 民子 只野真葛
⑯ 酒井昌一郎 仏像と肖像彫刻にみる仙台地域の歴史
⑯ 根岸茂夫 大名行列と仙台藩
⑯ 吉田正志 仙台藩の警察と牢
⑯ 粟原伸一郎 幕末戊辰仙台藩の群像
⑯ 吉岡一男 絵図でみる仙台藩
⑯ 細川純子 普江真澄の見た仙台
⑯ 菊地優子 大崎八幡宮の流鏑馬
⑯ 佐々木徹 伊達政宗と慶長遣欧使節
⑯ 倉持 隆 仙台藩と宇和島藩
⑯ 大沢慶尋 海外での支倉遣欧使節
⑯ 鈴木道男 学者が若年寄になると
⑯ 佐藤敏悦 仙台藩の食文化
⑯ 小西幸雄 真田幸村と伊達家
⑯ 伊達元成 直理伊達家の北海道開拓
⑯ 大島幹雄 初めて世界一周した日本人 -若宮丸漂流民
⑯ 佐藤大介 少年藩主と天保の危機
⑯ 七海雅人 周縁からみる仙台藩の成立
⑯ 日下龍生 伊達政宗の騎馬像
⑯ 横口智之 大崎八幡宮石の間の天井画
⑯ 佐藤雅也 仙台の伝統工芸の歴史と現在
⑯ 荒武賛一朗 江戸時代の白石と商人の活動
⑯ 太田秀春 仙台藩の支城 -城・要害・所・在所-
⑯ 松田 清 林子平と蘭学
⑯ 入間田宣夫 平泉と仙台藩
特 齋藤 潤 伊達氏、仙台への道

*叢書は77巻で終了です。

●申し込み先／『国宝大崎八幡宮 仙台・江戸学』実行委員会 〒980-0871 仙台市青葉区八幡4-6-1大崎八幡宮内
TEL.022-234-3606 FAX.022-273-1788 ●FAXまたはハガキに住所・氏名(フリガナ)・電話番号、叢書名を
明記し、お申ください。●金港堂、紀伊國屋書店仙台店、仙台市博物館売店でもお求めいただけます。